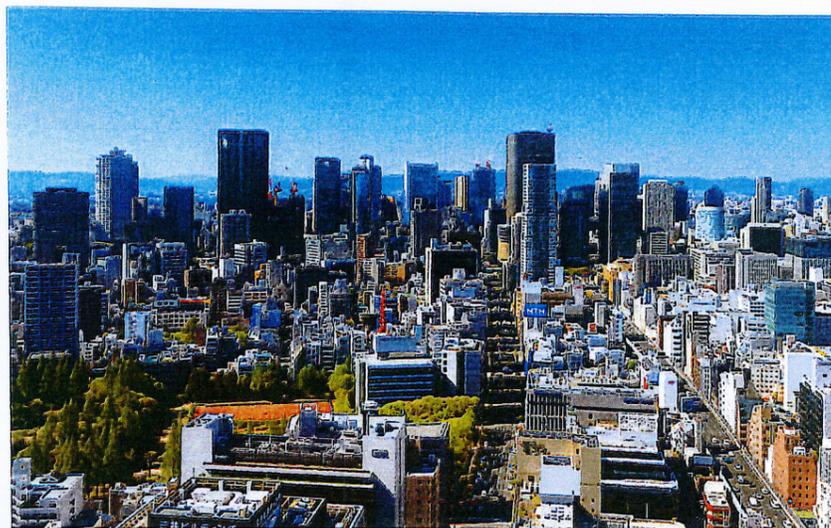


◆企業業績、緩やかに上昇だが！

財務省の法人企業統計調査によると2015年4月～6月期製造業、非製造業のいずれも売上高、経常利益ともに前年同期を上回る結果となり、企業の業績は好調を維持している。しかし中国経済への懸念が高まっており、このまま好調を維持できるか疑問ものこる。資本金1千万円～1億円の中小企業の売り上げは昨年同期比2%増、経常利益は26%増と大幅に改善されている。

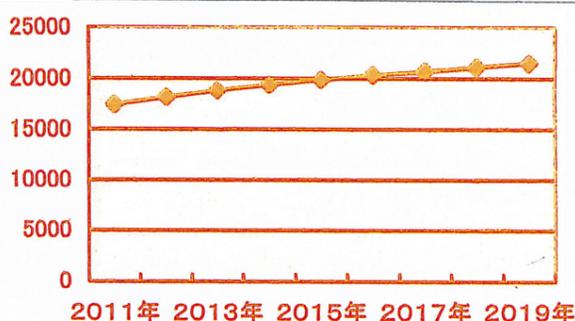


◆食品宅配、2兆円に迫る勢い！

矢野経済研究所の調査によると少子高齢化が進む中、共働き世帯の増加や生活様式の多様化に加え、人口が増える高齢者に見守りサービスを兼ねた宅配需要の増加があるという。今後、実店舗とインターネット通販との相互活用等「オムニチャネル」化が進み食品宅配サービスでも同様の動きが活発化するものと思われる。分野別で見ると、生協の個配が50.8%、惣菜や食材宅配が15.3%、宅配ピザ6.6%、ネットスーパー6.2%、牛乳宅配5.5%、在宅配食5.4%、外食、寿司宅配5.3%、コンビニ宅配が1%となっている。表とグラフの通り「食品宅配」は毎年右肩上がり、これらの市場は拡大の一途をたどっている。

食品宅配市場規模拡大伸展！

年度	市場規模実績	年度	市場規模予測
2010年度	1兆6717億円	2015年度	1兆9864億円
2011年度	1兆7402億円	2016年度	2兆0281億円
2012年度	1兆8097億円	2017年度	2兆0675億円
2013年度	1兆8797億円	2018年度	2兆1072億円
2014年度	1兆9348億円	2019年度	2兆1470億円



企業と生活者接点をつなぐ仕組み



◆新しい購買スタイル、「オムニチャネル」！

実店舗での商品販売とインターネット上のバーチャル店舗での販売を連携させた新しい購買スタイルや、それらの取り組みを「オムニチャネル」と言う。「オムニ」とはあらゆるという意味があり、顧客にとっては、どのチャンネル（実店舗やネット通販など）からでも購入できる仕組みである。販売側にとっては、実店舗とネット通販などで売る商品に分けて「どこで何を売るか」を考えるスタイルから販売経路を顧客に合わせて「どのように購入してもらうか」という顧客中心に考えるスタイルに変えていく必要がある。米国では百貨店の（メーシーズ）がこの考えを取り入れ実際に売り上げをのばしている。

◆加速する温暖化！③

「太平洋が爆発する？」アメリカ北西部のワシントン州沖の海水が500mの深さで徐々に暖かくなっており、メタンが個体からガスへと気化していると言う。過去40年で約4万トンのメタンがハイドレート分解物として放出され、海中や洋上に排出されている。これは、メタンガスとなり引火すれば爆発の危険も懸念されると言う。



◆対応の良さ日本一！
アロンに聞けば何でも判る！
親切、丁寧、スピード回答！

◆ 食品容器・包装資材・総合商社 ◆

アロン・トレーディング株式会社

本社 東京都千代田区神田佐久間町1-14 ☎03-3257-1701(代)
 仙台営業所 仙台市青葉区中央4-8-17 ☎022-211-0701(代)
 札幌営業所 札幌市豊平区月寒西1条3-5-1 ☎011-853-2597(代)